

2025 年 11 月 20 日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

Idein 社と製造業向けエッジ AI ソリューションを共同開発

IoT 機器の遠隔管理と現場データの活用で、製造ラインのセキュリティ強化と運用負荷を軽減

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:新宮 達史、本社:東京都港区、略称:CTC)は、ディープラーニングの高速化について高い技術力を持つ Idein 株式会社(代表取締役:中村 晃一、本社:東京都千代田区、以下:Idein 社)と、製造業向けのエッジ AI ソリューションの共同開発における業務提携契約を締結しました。製造ラインにおける IoT 機器の安全な管理と現場データの効果的な活用により、運用負荷の軽減と業務改善を支援するソリューションを共同で開発します。

近年、AI カメラやセンサーが接続可能な小型の汎用デバイスが安価で導入できるようになり、多くの製造業で、設備の稼働状況や製品品質の把握に向けた IoT 化が進んでいます。一方、機器の管理が部門や工場ごとに分散している場合も多く、セキュリティ設定の不統一やソフトウェアの更新漏れといった課題が生じています。加えて、現場で収集可能なデータを改善活動につなげ、品質や業務効率の向上を推進するための仕組みづくりが求められています。

今回開発するエッジ AI ソリューションは、Idein 社のエッジ AI プラットフォーム「Actcast」と、CTC のデータ活用伴走サービス「D-Native」を組み合わせ、工場内のデータを安全かつ効果的な活用を支援するものです。

各工場に分散する Raspberry Pi などの汎用デバイスを Actcast 上で一元的に管理し、設定変更やソフトウェアの更新を遠隔で実施することで、セキュリティ強化と運用負荷の軽減を実現します。さらに、D-Native によって、IoT センサーから得られる温度・湿度・寸法・重量・エネルギー消費量など複数データの蓄積や、可視化・分析を伴走型で支援することで、品質のばらつきや異常傾向などを早期に把握し、現場の業務改善につなげます。

あわせて、作業の効率化や品質検査の自動化に向けた独自のアプリケーションを、Raspberry Pi 上で開発できる環境も提供します。CTC がアプリケーション開発の支援を行うことも可能で、現場主導の業務改善を支援します。

CTC はこれまで、自動車や電機、機械など幅広い製造業のお客様向けに、IoT や AI の活用を通じた生産ラインのデジタル化を支援してきました。また、Idein 社と共同で、汎用的な IoT デバイスを利用した体温検知 AI デバイスのほか、カメラ映像をエッジ AI で解析する製造業やリテール向けのソリューションを開発してきました。

今後も両社の協業を進め、センシングや AI を活用して塗装・組み立て機械をはじめとする産業用ロボットの制御にもエッジコンピューティングソリューションを拡充し、製造業を中心とするお客様の DX に貢献していきます。

＜今回開発するエッジ AI ソリューションのイメージ＞



※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

＜報道機関からのお問い合わせ先＞

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

E-mail: press@ctc-g.co.jp